

業を始むる前の祈祷

主イエスハリストス、爾が無原の父の  
獨生の子よ、爾は至淨の口にて曰へり、  
我なくば能く爲すなしと。主よ、我が  
主よ、我は信を以て爾の言を心に懐き、  
爾の仁慈を拜みて禱る、我罪人が始むる  
所の業を佑けて、之を遂げさせ給へ、父と  
子と聖神の名に依りてなり。「アミン」

業を終る後の祈祷

萬福を賜ふ我がハリストスよ、爾に感謝  
す、願くは、恒に我が靈に喜と樂とを  
満てて、我を救ひ給へ、爾は獨大仁慈の  
主なればなり。

受業前の祝文

智慧を賜ふ教師、明悟を與ふる主宰、智

識の開けざる者の教導者、能力の乏しき  
者の守護者よ、我が心を誨えて、之を固  
め給へ。父の言よ、我に言を與え給へ、  
蓋我口を閉ぢずして爾に呼ぶ、仁慈なる  
者よ、我罪人を憐み給へ。

或は

至善の主よ、爾が聖神の恩寵を遣し、我  
等に靈の力を賜ひて、之を固め給へ。  
我等が授けらるる教に心を用い、益生  
長して、爾我が造物主の光榮、吾が親の  
慰、教會と生國の利益となるを得しめ  
給へ。

受業後の祝文

造物主よ、爾の恩寵を我等に賜ひて、學  
業に心を用ゐさせ給ひしを爾に感謝す。

われ等の首長、父母、教師等、我等を導き  
て善を知らしむる者に福を降し、及び  
我等に此の學業を継ぐが爲に能力を與  
へ給へ。

食前の祝文

天に在ます我等の父よ云々

或は

主よ、衆人の目は爾を望む。爾は時に隨  
ひて彼等に糧を賜ふ、爾の豊なる手を開  
きて、諸の生る者を爾の恵に飽かしむ。

食後の祝文

ハリストス我が神よ、爾が地上の福を我  
等に飽かしめ給ひしを爾に感謝す。求  
む、爾の天國をも我等に得しめ給へ。

或は

讃揚せらるる神、我等を幼より憐み養  
ひ、凡そ生ける者に糧を賜ふ者よ、我等  
の心を喜と樂とに満て、我等が恒に諸  
の事に乏しからずして、我が主イエス  
ハリストスに因り、諸の善事を行ふに足  
るものとならしめ給へ。蓋光榮柄に尊敬  
す。「アミン」

或は

主よ、爾を讃揚す。聖なる者よ、爾を讃  
揚す。王よ、爾を讃揚す。我等に樂みて  
食するを賜へばなり。求む、聖神を我等  
に満て、爾が各人の行に應じて報ゆる  
時、我等を爾の前に喜ばれ、耻を受けざ  
る者と顕し給へ。